

PFAS の基礎知識と リスクのとりえ方

近年、「PFAS」とよばれる物質群の環境・人体への有害性が議論されています。PFAS とは、「ペルフルオロ（またはポリフルオロ）アルキル化合物」、すなわち複数のフッ素原子をもつ有機化合物の総称です。PFAS は非常に安定で分解されにくいことから「永遠の化学物質」とよばれることもあります。実際にはどのような性質があり、環境や人体にどのような影響を及ぼすのでしょうか。また、研究者は PFAS のリスクをどのように分析し、問題の解決に取り組んでいるのでしょうか。

今回の環境教育シンポジウムでは、PFAS についての基本的な知識を学び、あわせてそのリスクのとりえ方についても考えます。化学物質やリスクについて、科学的な視点から眺めることで、環境問題とその対策に対する理解を皆様と一緒に深めたいと思います。

2025 年 8 月 1 日（金）**13:00 ~ 17:15****会場 & オンライン（Zoom ウェビナー）****13:00~13:05 開会挨拶・趣旨説明**

奥田 知明 慶應義塾大学理工学部 教授
日本化学会 環境・安全推進委員会 環境小委員会 委員長

13:05~14:50 第一部 講演**有機フッ素化合物 PFAS の化学的特徴、規制動向および分解・再資源化**

堀 久男 神奈川大学理学部 教授

PFAS を例とした基準値と科学リテラシー

村上 道夫 大阪大学 感染症総合教育研究拠点 教授

14:50~15:10 休憩**15:10~15:40 第二部 パネルディスカッション**

パネリスト：堀 久男・村上道夫／司会：奥田知明

15:45~16:15 第三部 高校生による環境化学に関する研究発表

高校生による発表を行います（2 演題を予定）

16:20~16:25 閉会挨拶

水川 薫子 東京農工大学大学院農学研究院 講師
日本化学会 環境・安全推進委員会 環境小委員会 副委員長

16:30~17:15 交流会（中高教員・中高生向け／会場のみ／参加無料）

環境化学に関わる教育や研究・探究活動についての意見交換

対 象

初中等教育現場で環境教育を担う教員
環境問題に取り組む企業技術者・研究者
環境問題の最新情報を求める一般社会人
環境問題の全体像把握を目指す学生／生徒
など

主 催

日本化学会環境・安全推進委員会
環境小委員会

会 場

化学会館 5 階（東京都千代田区神田駿河台 1-5）
& オンライン（Zoom ウェビナー）

参加費

無 料
※ 希望者には別途資料を税込 1000 円で配布。中高生には無料で配布。

定 員

現地参加 50 名
オンライン参加 450 名

申 込

<https://bit.ly/4jAwtt6>

お問合せ：日本化学会 企画部 環境教育シンポジウム担当
env_safe@chemistry.or.jp

